吉祥果

円頓寺だより

令和５年
５月号
【吉祥果 391 号】

昨年ラン活のお話を書いたのを覚えていますか？ラン活とは新小学生のためのランドセル購入のこと。早い人はゴールデンウイーク頃から始まる展示会に行って、数料限定品のランドセルの購入予約をすると聞いて、出足の早さに驚いたという話。四月の入学準備に、前の年の五月からランドセルの購入予約をするというニュースを見て、あまりの早さにビックリしました。

そして夏が過ぎ、秋になり、雪が降り、春が待ち遠しくなったころ、ランドセルのお祓いをしてくださいとのお申し出がありました。ちょうど節分頃だったので、お気に入りの真新しいランドセルを持ってきてもらって、豆まきをして邪気を祓い「小学校で頑張れるように」と、若上人が御祈禱をしました。

彼はお母さんと一緒に鬼子母神様の前で小さな手を合わす姿を見て「僕もこんな小さかったんだろうか」と思いながら、御加持でお経巻を子供たちに当てました。

「がんばれ‼小学校は楽しいことがいっぱいあるよ」

といって送り出しました。

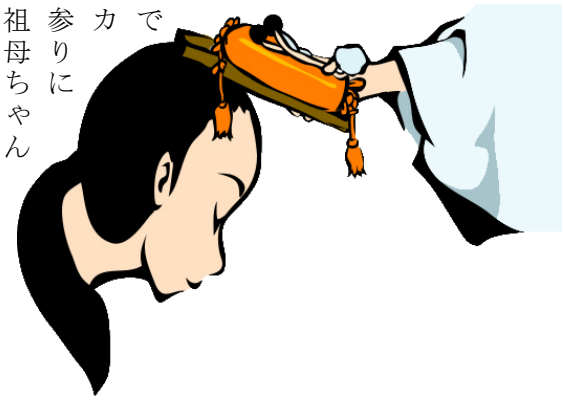
今年は桜の開花が例年より早く、お彼岸頃に咲き始めたので、名古屋市内の小学校の入学式は満開の桜の木の下でとはいきませんでした。それでもランドセルのお祓いをしたあの子供たちが、入学式を終えて、式で着た新一年生らしい装いに、ピカピカのランドセルを背負って、お寺にお参りに来てくれました。お祖父ちゃんやお祖母ちゃんにも見てもらったんでしょう、ポーズも決まっています。期待いっぱいで、目を輝かせ、希望に満ち溢れています。

そういえば、四半世紀前、「一年生になった～ら、一年生になった～ら、友達百人できるかな」と息子が大きな声で歌っていたのを思い出しました。

この春はコロナも感染者数が減ってきたからと、友人から花見の案内がありました。旧友も多数参加するというので、久しぶりに花見に出かけることにしました。

今回は広告代理店で働く友人が企画したと聞いたので、楽しみにしていました。花見もいいけど、彼の絶妙なトークも面白い。そもそも人々の求めているものがわからなければ広告は作れません。そのうえで「あっ、これ欲しいな」と思わせ、売り込むのが宣伝広告。

彼は他人と違った感性を持っていて、みんなを楽しませ、話も上手です。着ているもの



も、こだわりがあって個性的。見た目も、話をしても、センスがいいなあと感じるような人です。そんな感性はどうやって身に着けたのかを聞いてみたら

「センスは生まれつきだと思われているけれど、成長する。

そのためには、好きなものをたくさんつくること。人は好きなことから得ようとする力があるから、好きなものを増やす。

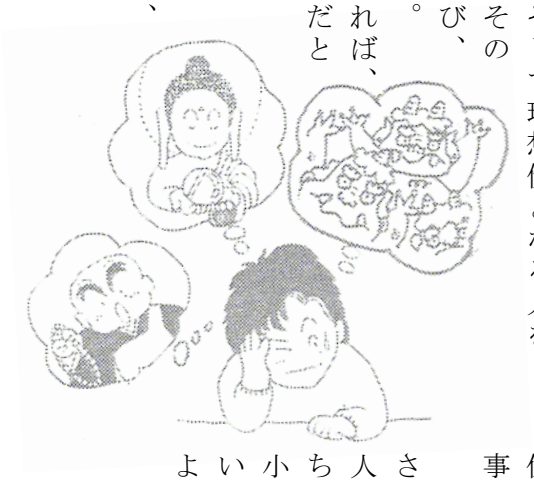
そして好きな人も増やす。その好きな人のいいことを真似して成長するから。

そもそも好きって幸せだからね」

との返事でした。

なるほど、好きな物ができたら、もっと深く知りたくなって、そのためならばたとえ苦手なことでも乗り越えることができるというのです。そして理想像となる人を見つけて仲間になる。とことんその人を好きになって、そこから学び、真似ることで理想に近づけます。そんな好きな物事がたくさんあれば、んどどん成長できるということだというのです。

きっと彼は、今までの人生の中で、日々人との出会いや人との付き合いをとても大切にして、



すべてを宝物にしてきたから出た言葉なんだろうな。

お母さんと並んで門を出ていく小さな後ろ姿を見送りながら、そんな彼の言葉を思い出し、思わず

「頑張って学校へ行って、友達がたくさんできるといいね」

と声をかけずにはいられませんでした。

私の声に振り向いた小さな一年生は、最高の笑顔で手を振ってくれました。

「人はこうして笑うんだね」。マスクで半分しか見えない笑顔に慣れっこなっていた私にとって、小さな笑顔はとても大きく輝いて見えました。

友達から学ぶことはたくさんあります。授業で得る知識もそうですが、社会で生きるための知恵や人間関係を上手に保つことも大事な勉強です。

そういう体験をたくさん積み重ねていくと、大人になって良いセンスの持ち主と成れる、その第一歩が小学一年生なのだなあ。忘れていたものを思い出させてくれたような気持になりました。

〈諫暁八幡の弁〉三十二

日蓮大聖人はご草庵より裸馬に乗せられて、鎌倉の市中に入ってまいりました。鶴が岡八幡宮に至ると

「各々しばらくお待ちを。日蓮、八幡大菩薩に最後に申すべきことがござる」

とおっしゃって、馬よりおりて、声高に

「八幡大菩薩は善神か、邪神か！和気清麿が頚斬られんとした時、月となって現われ、伝教大師が法華経を講義した時、紫の袈裟を布施された。

日蓮は日本第一の法華経の行者、身に一分の過ちもない。日本国中の人々が法華経をそしって、無間地獄に墜ちようとしている。また大蒙古が日本国を襲おうとしている。それでも八幡大菩薩は安穏でおられるか。

釈迦仏が法華経を説かれたとき、十方の諸仏・諸菩薩が集い、またインド・中国・日本国から善神・聖人が来集し、法華経を説き弘める行者が現われたとき、必ず守護をしようと誓われたことをお忘れになったのか！誓願をお忘れなら、急ぎ思い出されるがよい。八幡は妄語の邪神か、悪法の氏神か！それとも末法の闇に葬られて、威光が尽きておるのか？日蓮、頚斬られて霊山浄土にまいったならば、八幡大菩薩は誓願を用いぬ神であると、教主釈尊に申し伝えよう。申し訳なく思われたなら、急ぎお計らいあることを願っておる」

と八幡大菩薩をお諫めになり、再び裸馬に跨がれました。

〈四条決別の弁〉三十三

しばらく歩を進められると

「お役人、この馬しばし、お止めてください。ここに別れを告げたい者がおる」

とおっしゃると、馬がシャンと止まりました。同行しておりました熊王殿に

「大儀ながらこの社の裏に四条金吾の館がある。四条殿に今宵、日蓮は龍の口において斬首される。最後にお別れが申し上げたいとお伝え願いたい」

とおっしゃると熊王は四条殿の館へ向かいました。伝言を聞いた四条殿兄弟四人は、大聖人の一大事と取るものも取りあえず飛びだそうとすると奥方が、

「しばしお待ちを。国のため法華経のためには、我が身を思うな、妻子も忘れよ、と常々のご教戒。大聖人の一大事、このご装束をお召しになって、浄土のおともを」

と差し出したのは死装束の経帷子。兄弟四人は早速身に着し、後を追い駆けました。追いつくと群衆を押し分けて見れば、大聖人の正面には「日蓮法師、今宵片瀬龍の口において斬罪に処するものなり」と捨て札。左右には警護の役人、後には他宗の僧俗が集まり

「やーい、日蓮。諸宗無得道の悪口雑言を申した報いよ。貴様のような坊主が畳の上で往生するはずがないと思ったが、袈裟衣を着けての斬首刑。ざまあみやがれ」

と悪口雑言。実にワーイワーイと大騒ぎ。

《五月の当山
行事予定》

※鬼子母神様
ご開帳法要※

・五月十八日㈭
《年に一度のご開帳》
午後一時半より　読経
★ご祈願受付中

通常通りのご開帳法要を行う予定です。万が一コロナウイルス感染再拡大で、緊急事態宣言発中の場合は中止することもありますが、ご祈願は致しますので、お申し込みください。

〒451-0042
名古屋市西区那古野１－１１－７
長久山　円頓寺
Tel　０５２（５５１）３７６８
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://endonji.web.fc2.com/
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　shiota.houyuu@gmail.com

円頓寺　検索

【E-mail はﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞを経由しても送れます】

当山鬼子母神様は尾張徳川家から寄進された霊験あらたかな御祈祷本尊様です。その御前にてご祈願したお守りを授与しております。

今年の二月、前年厄年の御祈祷をお受けになった方が「無事厄年を過ごせました。ありがとうございます。今年も引き続き御守護いただきたいんで、今年用のシールお守り、いただけますか？」とおいでになりました。また、「年が変わったからお守りも変えないと」と言ってお正月にお寺を訪ねてくださった方もあります。

古くから、安産祈願のお守りや腹帯、合格祈願のお守りや鉛筆の授与、車の交通安全の御祈祷、病気平癒の祈願に本人が来れなければ下着や寝間着をお持ちいただいたり。また成人や就職などで新調した印鑑をお持ちいただき、印鑑開眼や所願成就の御祈祷をしたり…。最近ではランドセル、進学・就職祝いの万年筆などの品、就職成就の祈願ではスマートフォンの御祈祷なども行います。

毎月十八日の鬼子母神様ご祭礼では、毎回御祈祷を行っています。事前にご連絡いただけば、ご祭礼以外の日、例えば品々を贈るその日でも、ご希望の日があれば日程調整をしますのでご相談ください。

昨今のコロナの出現で、手洗いやマスク着用、距離をとるなど、新しい生活ルールもでき、私たちの生活も随分と変わりました。そんな中でも、円頓寺は皆さんの思いに寄り添える寺であり続けられるよう努力をしていきたいと思います。

まずは「こんなこと、できますか？」と気軽に声をかけてみてください。仏様はいつでも皆さんの応援団です。